

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

全国産業教育フェア、伝統のバトン繋ぐ！

10月26・27日(土・日)、朱鷺メッセほか3会場で、「専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典」である第29回全国産業教育フェア新潟大会が開催されました。県内外から予想を上回る来場者。山口県から新潟県に繋がった伝統のバトンを、大成功のうちに、来年開催の大分県に繋ぐことができました。

本校の生徒も、「世界一の苔玉」と朱鷺をイメージした3色のペゴニアによる会場装飾、駐車場、案内・誘導、巡回・清掃、My箸づくりの体験コーナー、農産物販売、課題研究の展示、参加交流イベント、SPH事業発表、来賓への茶菓提供、生徒実行委員会としての参画など、大いに活躍し、県内外の多くの方々から高い評価を受けました。大変立派でした。

第29回全国産業教育フェア新潟大会 さんフェア新潟2019



←草花コースが製作した「世界一&ミニ苔玉」が、朱鷺メッセ正面玄関で来場者を出迎え。インスタ映えするスポットになりました。

朱鷺をイメージした赤・白・ピンクのペゴニアで、3会場を装飾。花のピークを合わせる技術はさすが流石。なんとプランター総数300！→



←3年生が、朱鷺メッセ(2日間)と新潟市食育・花育センター(1日)で、駐車場、案内・誘導、巡回・清掃を担当。明るい挨拶が評判でした。寒い

中、本当にお疲れ様でした。



↑総合開会式で、生徒実行委員長が、「私たち高校生の未来に向けた志を感じてほしい」と開会の挨拶。

新潟県の自然や歴史、文化と産業を手作り感あふれる動画やスライドショーを通して、紹介していました。



↑緑地工学コースのMy箸づくりの体験コーナーは、長蛇の列ができる大盛況。文部科学省の教科調査官からも体験していただきました。農産物販売も味噌マドレーヌはすぐに完売、果物や農林卵も評判でした。



←作品展示では、生物工学科3年生が4つの課題研究の取組を紹介。足を止めて説明に聞き入る参加者が見られました。

SHP事業発表会では、大竹学登さん、小柳良太さん(3-5)が本校の取組と成果を報告。堂々たる発表でした。→



←参加交流イベントでは、本校生徒が、農業高校を代表して、4校の特色等を紹介。本校の「ホタルの舞う故郷を目指して」もPR。

農ク全国大会南東北大会で交流深まる！



10月22～24日、山形、宮城、福島の3県で、第70回日本学校農業クラブ全国大会が開催されました。

本校からは、農ク会

長の佐藤美咲さん(3-5)が、クラブ員代表者会議に参加。「若い世代だけでなく、大人にも新規就農者を増やしていくためにクラブ員はどのような活動ができるか」というテーマの分科会で、交流を深めました。農業体験の参加者年齢のupや、文化祭でのPRなど、興味深く意見交換したそうです。

また、農業鑑定競技会には、本校から代表6人が参加。本校生徒は入賞を逃したものの、新潟県勢が最優秀賞(造園)を受賞するなど、本県農業高校のレベルの高さを証明しました。

24日(木)、山形市総合スポーツセンターでの大会式典では、県連旗の入場(写真)に県勢の一体感を感じ、FFJの歌では全国の仲間との連帯感を感じ、交流が深まる思い出に残る大会となりました。

PTA校外研修、大学・専門学校を見学！



←青陵大の階段教室



えぶろんの設備はプロ仕様→

10月5日(土)、PTA校外研修が行われ、午前中は新潟青陵大学・同短期大学部と峰村醸造(味噌ソフトクリーム美味！)を見学。昼食後は、にいがた食育・保育専門学校えぶろんを訪問しました。

参加者からは、「青陵大の看護学科では、看護師、保健師、助産師、養護教諭の4つの資格が取得可能と聞き、魅力を感じた」「短大部では、伝統の幼児教育学科と、幅の広い人間総合学科にも興味を持った」「えぶろんの学園長先生の理念に感銘した」「新しい保育科は、食に強い保育士を養成したいと始まったと聞き、時代に合っていると感じた」などの声。

進路検討の参考にさせていただき何よりでした。

林業就業支援講習の全日程を終了！



台風に伴う大雨で大きな被害が出ています。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、こうした被害

の背景の一つに、森林の荒廃による保水能力の低下があるとの指摘があります。林業従事者、「森の担い手」の育成が益々重要になっています。

林科の流れをくむ環境緑地科緑地工学コースでは、2年生を対象に「林業就業支援講習」(新潟県農林公社主催)を実施。10月15日(火)で3ヶ月にわたる全日程を終了しました。林業の動向(講義)や安全講習、刈り払い機資格講習、チェーンソー講習(写真)、高性能林業機械や製材工場の現場見学など、時間をかけて学びを深め、この日を迎えました。修了証や資格証を手にした生徒たちは、これまで以上に頼もしく見えました。

校歌の一節に「農林邦家の基の道を」とあります。農林業が国と地域を支えていることに誇りを持ち、進路を考えていきたいものです。

☆合言葉はGRIT(やり抜く力)☆

進路講演会で「今が大切」の思い共有！



10月16日(水)、新潟食料農業大学副学長、中井裕先生をお迎えして、進路講演会が行われました。

中井先生は、東北大学総長を務めた本多光太郎先生(“鉄鋼の父”とも呼ばれた物理学者、冶金学者)の「今が大切」の言葉を引用し、「自分がいる場所で最高のパフォーマンスを出せれば、自分は満足できるし、世の中のためにもなる」「自分の好きな分野に進んで、精一杯やるのが大切」とアツク語ってくださいました。

生徒からは、「他人の影響で自分のしたいことを諦めようとしていたが、今回の講演を聞いてもう一度目指そうと思えた」「視野を広げ、情報をたくさん集め、自分の好きなことを見付けられるようにしたい」などの声。思いが共有されたようです。

夢・目標に向かってやり抜く力を育んでください。